

農林水産商工常任委員会資料

(令和8年7月21日)

項 目

ページ

- 県外企業の立地決定等について
【立地戦略課】…………… 2
- 令和8年度TPS（トヨタ生産方式）研修の開講について
【産業未来創造課】…………… 3
- 地域起業家アクセラレーションプログラム（FLAT Next）の開始について
【産業未来創造課】…………… 4

商 工 労 働 部

県外企業の立地決定等について

令和8年7月21日
立地戦略課

県外から新規進出となるシステム開発企業の(株)アイティープロデュース(本社:東京都台東区)のオフィス開設と、建設機械アタッチメント製造メーカーの(株)タグチ工業(本社:岡山県岡山市)の第二工場建設が決定しましたので、報告いたします。

1. 株式会社アイティープロデュース

(1) 企業概要

- 所在地 東京都台東区台東4丁目11-4
地方拠点: 出雲支社、出雲開発センター、江津サテライトオフィス、
松江支店、大阪支店、広島支店、広島開発センター、那覇支店
- 代表者 代表取締役 糸原 賢二(平成19年4月設立) ※島根県出雲市出身
- 売上高 約7億円(令和7年3月期)
- 事業内容 製造業・情報通信・金融等分野向け業務用アプリケーションの受託開発、AI・DX導入支援等



オフィス入居ビル
(米子第一生命ビル)

(2) 米子支店の概要

- 所在地 米子市東町171 米子第一生命ビル4F
- 操業開始 令和8年8月操業開始予定
- 投資額 約1,500万円
- 事業内容 首都圏を中心としたシステム開発案件の受託、地域企業のAI・DX導入支援
- 雇用計画 15名(5年計画)

(3) 立地経緯・概要

- ・同社拠点の松江支店や出雲支社に米子の顧客があったこと、また同拠点での採用者に当県西部出身者もいたことなどから、米子への進出を検討していた矢先、県と米子市の誘致により立地決定。
- ・製造業・金融業等多岐にわたる分野のシステムを開発。地方での開発に力を入れている。特に製造業分野は同社の全受注案件の半数以上を占めており、製造履歴(トレーサビリティ)など、製造現場に密着した大手製造業向けのシステム開発が強み。
- ・社員の平均年齢は31歳で、若者を中心とした地元定着型の採用に積極的に取り組まれている。

(4) 県の支援見込み

先端的デジタル活用企業立地促進補助金で支援予定(補助見込額: 約750万円)
(補助率: 1/2、対象経費: 事業所・機器賃借料、人材確保費用等(5年間))

2. 株式会社タグチ工業

(1) 企業概要

- 所在地 岡山県岡山市北区平野561-1
大山工場: 西伯郡大山町高田1151-9 高田工業団地内
- 代表者 代表取締役社長 田口 博章(昭和37年4月設立)
- 売上高 約48億円(令和7年8月期)
- 事業内容 建設機械アタッチメント製造等

(2) 大山第二工場の概要

- 所在地 西伯郡大山町高田1189番地2(既存工場隣接)
- 竣工予定 令和10年5月竣工予定
- 投資額 約22.3億円
- 雇用計画 5名
- 事業内容 建設機械アタッチメント製造(搬送・塗装工程を自動化)



(3) 増設経緯・概要

- ・平成19年度の誘致企業。リーマンショックの影響により大山町への立地計画を一時凍結していたが、その後の需要回復を受けて、平成30年度に大山工場の建設に着手(令和3年3月竣工)。
- ・老朽化した建物や空き家の増加、都市再開発の活発化により、解体工事の需要が高まっていることから、建設機械アタッチメントの増産を図るため、大山町所有の風力発電所用地(既存工場隣地)を取得し、第二工場を建設。
- ・第二工場では、薄板・中板鋼板(厚み6~40mm)の溶接工程を岡山工場から移設し、生産拡大に対応する計画。工場内の運搬作業を自動化する自動搬送システムや、ロボット塗装等も導入し、最先端のスマート工場を目指す。

(4) 県の支援見込み

産業未来共創補助金で支援予定(補助見込額: 約3.3億円)
(基本10%+土地建物同時取得加算5%)



建設機械アタッチメントの例

令和8年度TPS（トヨタ生産方式）研修の開講について

令和8年7月21日
産業未来創造課

今年度のTPS（トヨタ生産方式）研修（R4～）について、県内工場の生産性向上・脱炭素化を目的として、トヨタグループ監修のもと、階層別の研修を開催するとともに、県内企業からニーズの高い「からくり」改善研修を新規研修として取り入れ、7月から開講しています。

トヨタ生産方式（TPS Toyota Production System）

「ジャストインタイム（各工程に必要なものを必要な量生産する）」、「自働化（異常発生時には機械が直ちに停止して、不良品を生み出さない）」を2本の柱として、効率化を図る生産方式。

1 令和8年度のTPS研修の概要

経営者、製造中核人材などを対象とした階層別の研修を下記のとおり実施。

[研修名]	トヨタ本社研修	ベンチマーク研修	座学研修	【新】からくり改善研修
[テーマ]	TPSの本質理解	工場の見える化、現場改善、CO2削減方策など	TPS基礎知識、TPSに基づく方針管理	TPSの重要手法「からくり」の理解、製作
[場 所]	トヨタ自動車(株) 本社工場 等	リコーPFUコンピューティング(株) 鳥取工場	鳥取県立倉吉体育文化会館 等	NOK鳥取(株)
[対象者]	経営者	製造中核人材	管理職・現場社員	経営者～現場社員
[時 期]	11月下旬頃	7月15日(水)～(全7回)	9月24日～(全4回)	7月14日(火)～(全3回)

2 新たな研修カリキュラム「からくり改善」について

TPSに基づく改善手法の一つである「からくり」は、コストや電力を用いず改善を行えることから、県内工場の「働き方改革」や「エネルギー価格高騰」への対応にも繋がる取組。工場の生産性向上・脱炭素化を同時に実現できる手法として全国的に注目を浴びている。

「からくり」とは

生産現場のムリ・ムダ・ムラに対し、電気・電子制御などに頼らず、「重力」、「テコ」、「滑車」、「バネ」等を組み合わせて作動する仕組み。

なお、研修を通じて試作する予定の「からくり」作品については、「令和8年度とっとり産業未来フェス」で展示、発表する「からくり改善コンテスト」を開催。併せて、トヨタ自動車の「河合おやじ※」の「からくり」講演会と、表彰式を実施する予定。

※2015年に技能職出身初となる専務役員に就任後、2017年副社長、2020年執行役員、2021年からエグゼクティブフェロー(おやじ)就任。今年6月エグゼクティブフェローを退任されアドバイザーとして地域のものづくり振興等に取り組まれている。

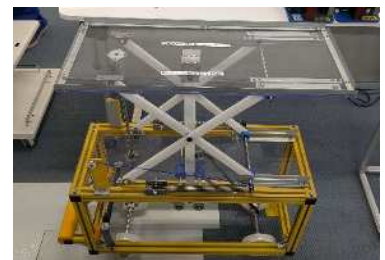
からくりの例



箱の重みを利用した自動シューター



重たい資材を立てたまま運べる台車



次工程まで自動で搬送する架台

【参考】これまでの取組み

複数企業が会場企業の生産装置等を題材に課題解決に取り組む「ベンチマーク研修」を中心に、県内企業へのTPS実装を図ってきた。(トヨタグループ監修による本方式の研修は国内初。)

ベンチマーク研修には、これまで延べ65社、154名が参加。

(ベンチマーク研修実績) ※月に2日間開催

会場企業には一時的に操業を停止するなど協力いただいている。

令和4年度：TVC(株)(南部町)

令和5～6年度：TVC(株)(南部町)、気高電機(株)(鳥取市)

令和7～8年度：リコーPFUコンピューティング(株)(鳥取市)



地域起業家アクセラレーションプログラム（FLAT Next）の開始について

令和8年7月21日
産業未来創造課

令和6年度から実施している、地域に根ざしたビジネスを志す起業家等を対象に成長性のある事業プランへの磨き上げを行うプログラム「地域起業家アクセラレーションプログラム（FLAT Next）」について、今年度事業の開講式を9月12日（土）に開催することとし、受講生の募集を開始しました。

1 開講式の概要

〔日 時〕 9月12日（土）午後1時から4時まで

〔会 場〕 鳥取大学地域未来共創センター

※本年度から、鳥取大学と連携して実施。起業家育成科目の受講生や鳥取大学起業部等の学生にも参加を働きかけている。

〔参加者〕 受講生8名（現在募集中）

〔内 容〕 講義「スタートアップフレームワークの理解とビジネスモデルの抽出」他

※初回講義では、ペルソナ設定等、事業づくりの基礎の理解や市場課題の特定を目指す。

2 プログラムの概要

地域課題の解決等、鳥取県内に根差したビジネスを検討・実施している起業家や起業家予備軍を対象に、事業成長に必要な知識・ノウハウを学びながら、各参加者が地域へのインパクトを与えうる実現性、継続性、成長性の高い事業計画の策定に取り組むプログラム。

※本事業は、全国の自治体で事業創造や起業家育成に資するスタートアップ支援に実績のある（株）エージェントに委託して実施。

〔実施期間〕 9月から12月までの約3カ月間

〔主な内容〕

①個別面談サポート

起業経験を持つ専任メンターが毎週1時間の面談で進捗や課題を確認するほか、チャットで事業づくりの悩みに随時対応。

②集中講座・進捗発表会

毎月1回、事業開発に必要なスキルや成功のポイントを学ぶ講座を実施。月ごとの進捗発表とフィードバックで内容を磨き上げ。

③ビジネスプランコンテスト（最終発表会）

プログラムの集大成としてピッチコンテストを開催。事業プランを完成させ、伝える力を磨き、優秀プランを選出。

3 今後の実施予定

8月11日（火）	参加者募集の締切
9月 5日（土）	オリエンテーション・懇親会
9月12日（土）	開講式・集中講義①
10月10日（土）	進捗発表会・集中講義②
11月 8日（日）	進捗発表会・集中講義③
12月19日（土）	ビジネスプランコンテスト



（令和7年度のビジネスプランコンテストの様子）

【参考】当プログラムにおける起業事例

アクセラ参加者	成 果
池田 晴介 氏	事業づくりを学び、弓浜紘の体験プログラムの提供やプロダクト開発を開始した。年内に起業予定。 （感想）事業の考え方を1から教えてもらえた。仲間が存在も心強かった。
是澤 奈々子 氏	走力をアップさせるトレーニングサンダルの特許・商標申請に着手した。また、プログラム中に身につけたスキルを活かし、中高生アスリート向けのスポーツ事業を6月にリリースした。 （感想）ノリと根性で突っ走ってた私に、“正しい知識と仲間” が加わって、ビジネスが加速しました。
佐々木 啓太 氏	アクセラ受講後の2025年4月に、シニアの生活の質向上に繋がるシニア専門ダンススクール「ゆるダン」を運営する「YURU'Q 合同会社」を設立した。 （感想）起業なんて自分にはできるのか、そう思っていたのですが、たった3か月で“ビジネス戦闘力が全く違う” 状態になりました。